

建築家、 風土を デザインする

■日時

2023年10月12日(木)
18:00~20:00 ZOOM 配信

地球の気候変動は危機的状況であり、脱炭素社会を目標に、建築界では省エネ適合基準義務化、ZEH, ZEB 建築に動き出している。現代的あるいは先端的な手法（高効率な設備や素材の採用など）により、省エネ性能を高めたり、外皮性能の適用が除外される枠組みの中で、伝統工法を守りながら、地域の気候風土に適応する方法で省エネに取り組むなど、そのアプローチは様々である。建築が環境と人を繋ぐ役割を持つならば、その建築の形も様々かつ豊かなものであるはずだ。土地の環境は様々な点で違いをもつ。日当たり、風、水、地形、緑、生態系などが存在し、それらを読み取り、建築とすることが建築家の役割である。そのプロセスにおいて、各方面の専門家の知識と経験、建築家の分析力とひらめき、テクノロジーが導く既知と未知の環境シミュレーション予測など、それらが互いに絡み合い、反発したり、溶解しながら、最終的には融合することで、解がもたらされる。

クライアントと環境意識と目標を共有し、地域の気候風土を建築のデザインに繋げている、それぞれの建築家のチカラを発信したい。

パネリスト



末光 弘和

SUEP.

写真：Masatomo MORIYAMA



水野 友洋

水野設計室



柿川 麻衣

Arup

ファシリテーター



小堀 哲夫

小堀哲夫建築設計事務所

■会場：ZOOM によるシンポジウム

■参加費：無料

■募集人数：300人

参加ご希望のかたは下記アドレス又はQRコードにてアクセスし必要事項を入力しお申し込み下さい

※定員になり次第締め切ります

<https://forms.gle/oPDpm14iTjxh6MkM9>

■主催：JIA 住宅等連携会議

<https://jutakjutak.net>

■CPD：2単位

■問い合わせ先：

mail@jutakjutak.net

